

# 木村 牧雨 (生年不詳～1776)

俳人。新居郡西条(現、西条市)を中心に活動した人。本名は信貞。牧雨の功績は、作品を残すだけでなく、その活動の子の五實、可菊、湖梅が継承し、西条に淡々流の勢力の基礎を作った。秀れた句に富み、牧雨の作風がうかがえる『月声集』は、松木淡々の添削をうけた千余の自句のうち、五百余句を厳選して刊行したものである。

## 略 歴

生年不詳

享保16(1731)年

湖照編『続にはくふり』刊行。牧雨の句が収められている。

宝暦13(1763)年

『月声集』を編集し、刊行

安永5(1776)年5月15日

西条近郊を吟行し、紀行文を記す。

永眠

〈関連図書〉

・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 文学』 愛媛県 1984年